

・業務量… 総有収水量5,958,491㎥（令和4年度　6,042,187㎥(対前年度比98.6%)）、一日平均有収水量16,324㎥（令和4年度　16,553㎥(対前年度比98.6%)）
管きょ延長263.1km（うち污水管196.3km、うち雨水管66.8km）
処理区域内人口57,834人（普及率99.9%）、水洗化人口　56,169人（水洗化率97.1%）

損益の状況　※消費税及び地方消費税を除く

	金額	内容
収益	15億6,657万円	下水道使用料、雨水処理負担金、長期前受金戻入等
費用	15億5,526万円	管きょ・ポンプ場費、流域下水道負担金、減価償却費等
当年度純利益(△は損失)	1,131万円	

繰越利益剰余金

	金額
当年度純利益(△は損失)	1,131万円
前年度繰越利益剰余金	1億7,934万円
当年度未処分利益剰余金	1億9,065万円

財務諸表

I. 損益計算書

営業費用 14億9,164万円	・管きょ・ポンプ場費 9,781万円 ・流域下水道負担金 3億4,166万円 ・業務・総係費 1億4,359万円 ・減価償却費等 9億858万円	・下水道使用料 8億335万円 ・雨水処理負担金 7,417万円 ・その他　10万円 ・長期前受金戻入 5億5,291万円	営業収益 8億7,762万円
営業外費用 6,362万円	・支払利息等 6,362万円 当年度純利益 1,131万円	・他会計補助金 1億2,653万円 ・その他　951万円	営業外収益 6億8,895万円

II. 貸借対照表

・固定資産 212億1,876万円	・固定負債(企業債) 45億1,278万円
	・流動負債 8億8,816万円
	・繰延収益 123億1,540万円
	・資本金 32億1,932万円
・流動資産 6億2,939万円	・剰余金 9億1,249万円

Ⅲ. キャッシュフロー計算書

1　業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益(△は損失)	11,313,302
減価償却費	906,780,933
資産減耗費	1,804,018
各種引当金の増減額	28,990,258
長期前受金戻入	△ 552,910,583
受取利息及び配当金	△ 1,464
支払利息及び企業債取扱諸費	61,232,563
未収金の増減額	26,334,664
未払金の増減額	115,200,096
その他	4,392,908
小計	603,136,695
利息及び配当金の受取額	1,464
利息等の支払額	△ 61,232,563
業務活動によるキャッシュ・フロー	541,905,596

2　投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 251,570,529
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	△ 22,106,620
無形固定資産の売却による支出	0
国庫補助金等による収入	167,848,400
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 105,828,749

3　財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	299,720,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 725,433,885
一般会計からの出資による収入	136,320,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 289,393,134

資金増減額	146,683,713
資金期首残高	321,671,966
資金期末残高	468,355,679

資本的収支の状況　※消費税及び地方消費税を含む

	金額	内容
収入	6億2,067万円	企業債、国庫補助金、一般会計出資金　等
支出	10億2,165万円	建設改良費、企業債償還金
収支差	△4億98万円	

資本的支出
10億2,165万円

資本的収入
6億2,067万円

・建設改良費 2億9,621万円	・企業債 2億9,972万円
・企業債償還金 7億2,544万円	・国庫補助金 7,280万円
	・他会計出資金等 2億4,815万円
	資本的収支不足額 4億98万円

資本的収支不足の補てん財源

	金額
収支不足額	4億98万円
消費税資本的収支調整額	575万円
損益勘定留保資金	3億9,523万円

企業債残高

	R4	R5	うち平準化債
企業債残高	56億877万円	51億8,306万円	21億6,170万円

前年度決算との比較（主なもの）

項目	R4	R5	前年比	主な要因
流域下水道維持管理負担金	2.98億	3.42億	114.5%	委託料経費等の増
管渠費	0.56億	0.66億	117.1%	工事請負費・材料費等の増
支払利息	0.72億	0.61億	84.6%	財務省利息額等の減
企業債	3.75億	3.00億	80.0%	資本費平準化債の減
他会計出資金	1.53億	1.36億	89.3%	基準外繰入の減
建設改良費	3.14億	2.96億	94.2%	委託料の減
企業債償還金	7.80億	7.25億	92.9%	財務省償還額等の減

令和5年度 主要事業

公共下水道施設包括的維持管理事業

大阪狭山市公共下水道施設包括的維持管理業務（第2期）

【業務概要】

- 期 間 令和5年4月～令和6年3月
※ 契約期間は、令和3年4月～令和8年3月までの5箇年
- 内 容 (1)日常的維持管理業務
(2)計画的維持管理業務
(3)ポンプ場及びマンホールポンプ維持管理業務
(4)計画策定業務
・ストックマネジメント計画変更業務 一式
(5)修繕・改築工事
・管渠更生 〇400mm L=29.21m
管渠更生 〇500mm L=39.25m
- 委託費 64,927,060円 （一部交付金対象事業）
- ＜成 果＞ 下水道施設の包括的維持管理により、業務の効率化、下水道施設の機能維持をし、市民サービスの向上に努めた



期	年度	住民対応			官民割合	官のうち NT割合
		官側	民側			
第2期	令和5年度	144	56	88	39%	63%
	令和4年度	172	65	107	38%	69%
	令和3年度	160	64	96	40%	60%
第1期	令和2年度	168	75	93	45%	71%
	令和元年度	135	51	84	38%	77%
	平成30年度	122	36	86	30%	68%
	平成29年度	138	56	82	41%	67%
	平成28年度	133	52	81	39%	71%

※第2期より事故対応件数には市役所からの連絡を含む

雨水対策事業

半田三丁目地内雨水函渠整備工事

【工事概要】

- 期 間 令和5年12月～令和6年3月
- 内 容 函渠整備工（500×500） L=28.19m
- 工事費 16,201,900円（交付金対象事業）
- ＜成 果＞ 大雨時に浸水被害が発生している箇所について
函渠整備工事を実施し、浸水対策を実施



ポンプ場施設改良事業

東野汚水中継ポンプ場主ポンプ整備工事

【工事概要】

- 期 間 令和5年4月～令和6年1月
- 内 容 1号主ポンプ整備 一式
- 工事費 16,605,600円
- ＜成 果＞ 老朽化により機能が低下していた1号主ポンプのオーバーホールを実施（耐用年数は15年程度）
※ 2号はH27に取替済、3号はR4にオーバーホールを実施



工場での性能試験の様子

下水道ストックマネジメント計画事業

市内污水管渠点検・調査業務

【業務概要】

- 期 間 令和5年5月～令和6年1月
- 内 容 污水本管スクリーニング調査工
L=22,543.94m
- 委託費 12,850,200円 （一部交付金対象事業）
- ＜成 果＞ 新技術である管内ドローンカメラ等を活用し
管渠の点検・調査を実施



管内ドローンカメラ
（自走式）

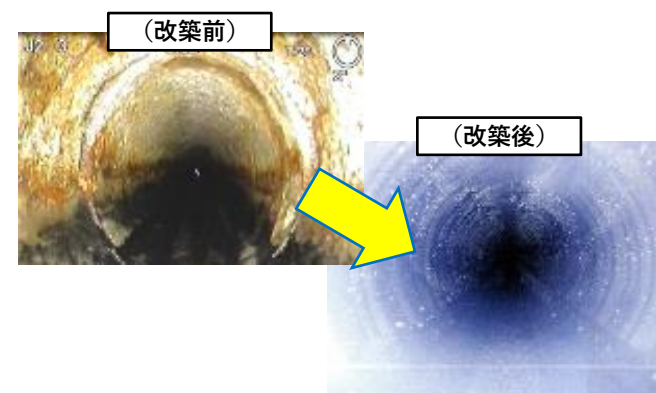


カメラ調査状況

市内污水管渠改築工事

【工事概要】

- 場 所 大阪狭山市西山台一丁目
- 期 間 令和5年8月～令和6年3月
- 内 容 管渠更生 〇250mm L=208.50m
- 工事費 26,181,100円（交付金対象事業）
- ＜成 果＞ TVカメラ調査で緊急度判定でⅠ（重度）とⅡ（中度）となった管渠を順次改築



三津屋川第10号雨水幹線管渠改築工事（第1工区）

【工事概要】

- 期 間 令和5年10月～令和6年3月
※契約期間は、令和5年10月～令和6年6月までの2箇年
- 内 容 推進機仮組費 一式
函体費（4000×2500） 一式
- 工事費 51,046,600円（交付金対象事業）
- ＜成 果＞ 狭山ニュータウン造成時に整備された老朽化が進んでいる
水路の改築を実施



工場での推進機仮組の様子



工場での函体完成検査の様子

下水道総合地震対策計画事業

市内人孔耐震化工事

【工事概要】

- 場 所 大阪狭山市大野台一丁目・二丁目
- 期 間 令和5年10月～令和6年3月
- 内 容 人孔耐震補強工 11箇所
- 工事費 42,616,200円（交付金対象事業）
- ＜成 果＞ 下水道総合地震対策計画（第2期）の対象
51箇所のうち、令和5年度までに30箇所の工事が完了 ※計画期間は、R2～R6の5箇年

